



□ 発行 芳賀町工業団地連絡協議会

□ 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98

□ TEL 028(677)5033

□ <http://www.hokoren.com>

□ E-Mail : [information@hokoren.com](mailto:information@hokoren.com)

□ 編集責任者 七井 真人

## ■ 第2回役員会 30周年記念事業企画などを承認

### 創立30周年記念事業コンセプト

### 『ありがとうの30年 地域と共に 活力ある明日へ』に決定

第2回役員会を10月23日開催しました。会議に先立ち細岡大会長は「7月の西日本豪雨災害、9月の台風21号による災害、そして9月には北海道胆振地方を震源とする地震など、全国各地でこの夏は自然災害による甚大な被害が発生し、市民生活や産業活動に深刻な影響を残しました。

第4次安倍改造内閣が今月2日に発足し、来年10月の消費税率アップや年金・医療・景気・雇用など我々にとって身近な問題が話題となっています。世界経済に目を向けると、今年3月にトラ

ンプ・アメリカ大統領は知的財産の侵害を名目に、鉄鋼とアルミニウムの輸入品に対する一方的な制裁関税を発動しました。私たちも米中間の貿易交渉の行方を注視しなければなりません。

芳工連の活動を振り返って見ますと、芳賀町長との意見交換会や県産業労働観光部長との意見交換など、関係行政機関の執行部と工業団地立地企業との意見交換を通して、立地企業が抱える疑問や工業団地を取り巻く課題の解決を図ることができ、意義のある意見交換をすることができました。

来期、創立30周年記念事業を実施するため、実行委員会が準備を進めています。芳工連は、「民・官・学」と連携を取ることで重点施策であります「安全で安心な工業団地づくり」を目指し、安定した成長が持続できる環境整備に努力して参ります。引き続き会員企業皆様のご協力をお願いいたします」と挨拶しました。協議された内容は次のとおりです。

1、創立30周年記念事業実行委員会委員に本田技研工業(株)生産本部栃木オフィスの川野淳一郎氏が追加任命されました。記念事業部で部長補佐としての活躍が期待されます。

2、創立30周年記念事業実行委員会からの企画提案で、コンセプト『ありがとうの30年 地域と共に 活力ある明日へ』を決定しました。

記念事業部の渡邊猛部長が、式典、記念事業及び祝賀会の具体的内容や運営方法などの企画内容を説明しました。



記念誌発行部の富永英夫部長が、記念誌編集方針に関する企画を説明しました。

両部の企画は、原案どおり承認されましたので、具体化に向けた検討を加速します。



3、創立 30 周年記念事業記念誌は、平成 31 年 8 月 5 日を目途に発行することになり、協永堂印刷（株）との業務委託契約締結を決定しました。

4、県県土整備部長あてに 11 月 7 日、主要幹線道路の整備促進に関する要望書を提出することから、要望内容の承認をいただきました。

5、芳賀町商工会との交流会については、11 月 30 日（金）午後 3 時 30 分から芳賀町商工会館において開催し、惣誉酒造（株）代表取締役社長に講演いただくことを決定しました。

6、賀詞交歓会については、平成 31 年 1 月 18 日（金）午後 5 時からホテル東日本宇都宮において開催することを決定しました。

7、第 3 回役員会を 12 月 20 日（木）午後 3 時から、管理センターにおいて開催することを決定しました。

8、各部会の事業実績等を承認いただきました。

## ■ 第 4 回創立 30 周年記念事業実行委員会を開催

10 月 22 日に第 4 回創立 30 周年記念事業実行委員会を開催しました。

細岡大実行委員長は「本記念事業を通じて会員と地域の皆様が幸せを感じ、実行委員のみなさまが達成感、充実感を実感するよう一致団結して活動していきたいと思っております。皆さまの活躍を期待いたします。本日は活発な議論をよろしくお願いいたします」などと挨拶しました。

実行委員会執行体制については、本田技研工業（株）生産本部栃木オフィスの川野淳一郎様を追加で実行委員に任命するよう提案。豊富な知識と経験をお持ちの川野様は、渡邊猛記念事業部長をオフィスで補佐する立場です。これまで記念事業部の業務を支援戴いてきた実績を踏まえ、正式に実行委員に任命いただくことになりました。

記念事業コンセプト原案については、芳工連の目的、記念事業の目的や方向性、大切にすべきこと、伝えたい観点などの要素を再確認しました。



これまで議論してきた経過を振り返り、『ありがとうの30年 地域と共に 活力ある明日へ』を創立30周年記念事業のコンセプトとして役員会に提案することを決定しました。

また、両部の企画内容を情報共有し企画内容を精査しました。この結果を10月23日に開催する第2回役員会へ提案することになりました。

## ■ 総務企画部会を開催

第2回総務企画部会を10月16日、7社7名の参加により開催しました。

藤井弘文副部長が「先週から急に朝晩は冷え込み、秋の深まりを感じる時節となりました。

本日は下半期の事業計画の推進方法等をご審議いただきます。引き続きご協力をお願いいたします」などと挨拶しました。

「創立30周年記念事業実施に関する協力について」は、記念事業部が記念式典や記念事業に関する企画を、記念誌発行部が記念誌編集方針を検討中であることを説明。総務企画部会から中山部会長が記念事業部会、吉富孝司副部長が記念誌発行部会に所属している旨の情報を伝えました。

総務企画部会の皆さまには、来期の記念式典や記念事業等でご協力をお願いすることになりますのでご理解とご協力をお願いしたい。

「全体研修会について」は、11月16日（金）に迎賓館赤坂離宮、隅田川屋形船乗船などの企画で参加者を募集中であることをご案内しました。

「第40回ボウリング大会について」は、2月13日（水）に宇都宮ゴールドレーンで19時30分から開催することを決定しました。



## ■ 若手研修会受講者「多くの気づきで決意新たに！」

総務企画部会主催の若手研修会を10月24日開催しました。9社から入社して数年以内の若手社員16名が参加しました。

業務の忙しさの中で忘れがちなCS概念、キャリアアップ挑戦、ビジネストークのテクニック、プレゼン能力などのブラッシュアップが今回の研修テーマです。

講師は「自分だけの経験では等身大以上にならない。組織人は会社の力を借りて自分に磨きをかけて欲しい。自分から殻に入っては伸びない」

「自分と違う視点に気づくことが、次のステップになり新たな発見がある。そのためにもコミュニケーションが大切になる」などと冒頭に説明しました。

受講者から「自分に足らなかったこと、知らないことを知ることができた」、「相手のことを考えながら、相手の立場になって行動できるよう頑張



ります」などの気づきを聞くことができました。

さらに、「自分で考え行動します」、「CS や顧客対応力に心掛けて行動します」などの決意表明もありました。

受講者は、基本に立ち返り、自分に磨きをかける研修を通して多くの気づきを得ることができたようです。仕事の異なる様々な業種からの受講者、様々な企業人が集うこのような機会を通して、仲間づくりが出来るのも芳工連主催の研修の醍醐味です。

参加された皆さまが、決意を新たに次のステージに立って活躍されることを期待したいと思います。

## ■ クリーン作戦で団地内を一掃

環境整備部会は、工業団地に立地する企業様に呼びかけ 10 月 25 日、第 3 回クリーン作戦を実施しました。天候に恵まれ 69 社から 222 名の皆さまの参加協力をいただきました。

朝晩の冷え込みが進み、間もなく落葉樹は紅葉に染まる時季です。サクラやトチノ木、気の早いケヤキが落葉を撒き散らし始めました。企業様には普段から落葉集めにご協力を戴いています。

今回は、空き缶やゴミの散乱はごく少量でしたが、大量の落葉が集積している箇所があり、落葉集めに集中していただいた企業様も多く見受けられました。

このところ、工業団地内では空き缶、たばこ吸い殻、買い物袋などの「ポイ捨て」が減ってきました。これは工業団地に立地する企業様総出の清掃活動そのものの視覚的な啓発効果、或いは、団地内通行者が綺麗なところにはゴミは捨て難いという意識を抱いたことによる効果と推察しています。

毎回、企業の皆さまのご支援と御協力に感謝を申し上げます。



## ■ 今からできる「優しいヨガで健康づくり」を体験

安全衛生部会は 10 月 12 日午後、10 社 25 名の受講者を迎え「健康づくり講習会」を開催しました。『寝たきりを防ぎ、元気に過ごせる健康運動』をテーマに新規で企画した事業です。

高山部会長は「これを機会に一人でも多くの方が、健康づくりに対する関心を高め、健康づくり実践の一助になることを願って開催しました」などとお挨拶しました。

第一部は県東健康福祉センターの齋藤保子保健師による「健康寿命を延ばすために」と題する講演です。平均寿命は栃木県の場合、男性 80.10 年で全国 42 位、女性 86.24 年で全国 46 位とのこと。（※平成 27 年都道府県別生命表による。）

平均寿命から不健康な期間を差引いた健康寿命の数値は、栃木県の男性が 71.17 年、女性が 74.83 年とのことです。（※平成 25 年国民生活基礎調査データによる。）

つまり、寝たきりになるなどで介護が必要となる期間は、統計上は平均で栃木県の男性 8.93 年、女性 11.41 年と数値ではなるようです。また、県内でも県東健康福祉センター管内市町の肥満率は男性 37.6%、女性 28.6%、男が 30 代、女が 50 代で高く、管内は県内でワースト 1 位とのこと。栃木県の喫煙率は平成 28 年度のデータで男 36.9%（全国 30.2%）、女 9.6%（全国 8.2%）で栃木県は全国ワースト 5 位、管内の男性は 43.8%で県内ワースト 1 位となっているようです。

齋藤保健師は、「日常生活の振り返りで、健康寿命を延ばすことが出来る。毎日の積み重ねは大きな成果をもたらすので、健康づくりの取り組みをお勧めしたい」とデータを用いて説得力のあるお話をされました。健康づくりへの取り組みは、如何に一人ひとりが実践するかどうかに懸かっているようです。

第二部の「優しいヨガ」実技は、音楽に合わせ、日常使っていない関節、筋肉などを優しく無理なく動かす運動です。一人ひとりマット上で様々な姿勢を体感しました。ヨガのポーズは無理・無駄のない、音楽とマッチしたリズムカルな動きです。呼吸、姿勢、瞑想を組合せて身体を刺激する誰でもできる簡単なレッスンでした。

筋肉を刺激して血行が促進してくるのを実感できます。また同時に、実技によって普段の生活で私たちは如何に運動不足であるか、如何に筋力が衰えているかを実感しました。

姿勢を良くして、内臓が活発化され、肩こり・腰痛・頭痛などの慢性的症状も緩和できそうです。さらに体力や筋力の向上、ストレスやうつ症状の緩和・耐性向上も期待できそうです。

参加者から「意外と筋肉痛になり運動不足を実感した」、「我が社の管理職にも参加するよう勧めたい」、「自分に合った何種類かのポーズを組合せ、継続して実践することで効果倍増が期待できそう」などの声を聞きました。



## ■ 運転を自己診断 危険予知で安全確保

交通防犯部会主催の安全運転講習会を 10 月 29 日開催しました。ツインリンクもてぎのインストラクターを講師に招き、1 時間 30 分の講習を 2 回に分け、14 社 32 名の皆さまに受講いただきました。

講習は動画 KYT という教材で、実際の運転状況を再現した動画を見ながら、ドライブ中に潜む危険を受講者それぞれが予測できる装置を使用したものです。

コンピュータグラフィックス動画には、あたかも自分が運転しているような映像が映り、危険を感じた時に手元のボタンを押すと、受講者それぞれが危険を感じて押したタイミングの記録が画像に表示されます。なぜ「そのような危険を感じたのか」などを受講者同士がディスカッションするなかで、危険を感じるタイミングや危険予知の捉え方に気づくことができます。

受講者からは「危険に気づくのが遅れていることが分かった」、「スピードを控えなければいけないと感じた」、「サイドミラーやルームミラーだけでなく顔を動かす安全確認が大切だと思った」、「ハイビームの必要性を感じた」などの感想を頂戴しました。

受講者それぞれが、安全運転に対する気づきや、安全運転の重要性を再認識したようです。



## ■ 管理センター管理組合役員会を開催

10 月 31 日、芳賀町と芳工連によって組織運営する芳賀町工業団地管理センター管理組合の役員会を開催しました。

当組合は、管理センター及び体育館の運営や施設管理を行うとともに、芳工連の活動運営の助長と地域における施設の有効利用の促進を目的としています。

上野哲男組合長（芳賀町副町長）は「LRT の車両デザインが決定したので、11 月には国交省へ車両設計の認可申請をして、許可ができれば車両製造を発注します。芳賀町ではバスターミナルに変電所を建設中です。軌道部は次年度に用地を確保する予定です。最終的には中央部に軌道を平成 32 年度から敷設し平成 33 年度の完成を目指しています。隣接の関係企業様には用地協力をお願いします。大塚地区バイパスについては来年 3 月に開通する予定で、交差点の切り回し工事が段階的に進められています。

新工業団地造成については、23 ヘクタールの造成を県企業局が実施する回答があり、平成 31 年度中に工事着手、平成 32 年度に予約分譲を開始する予定です。

今後も利便性を高めるよう努めますので、立地企業様のご理解とご協力をお願いします」などと挨拶しました。

会議では、上半期の管理運営状況、平成 30 年度



予算執行状況、工事及び修繕等の内容、上半期の会議室及び体育館利用状況などについて審議いただきました。

会議室と体育館の利用状況は良好で、利用料収入の実績が過去最高であったことを事務局が説明し承認いただきました。

今後も、施設及び設備を適正に管理することで、利用者が快適に会議室及び体育館をご利用いただけるよう努めてまいります。

## ■ お知らせ

### 台の原交差点、芳賀台北交差点の交通規制について

主要地方道宇都宮・向田線バイパス工事は完成予定が平成31年3月末となっていることから、11月から3月末にかけて「台の原交差点」及び「芳賀台北交差点」の切り回し工事が集中的に実施されます。

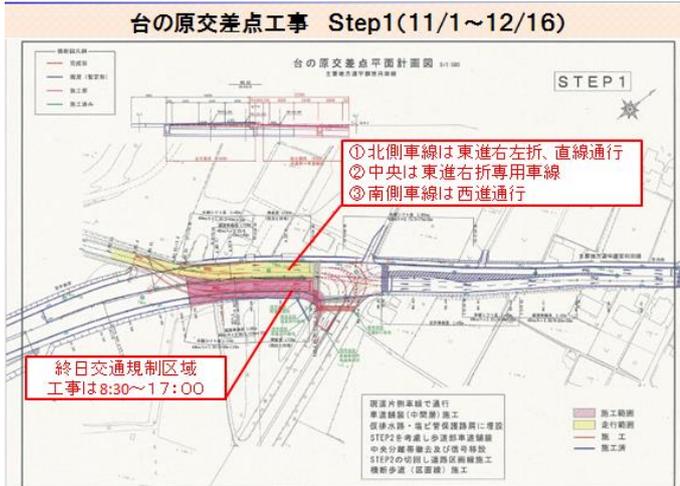
交通規制等でご不便とご迷惑をおかけすることから、発注者である県真岡土木事務所及び請負業者から、別紙資料に基づき工事内容の説明がありました。

芳工連では、工事に関する情報を継続して適時適切にお伝えしてまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

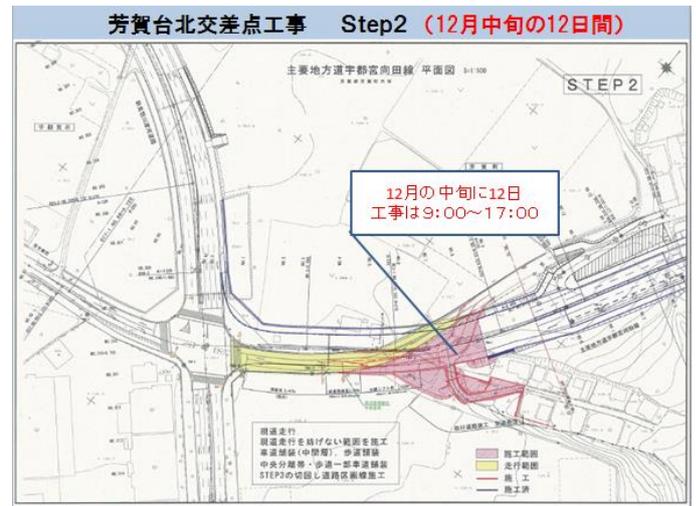


※ この内容は、10月29日付けVOL.1で既にお知らせしたものです。詳細はVOL.1のデータでご確認ください。

## 台の原交差点の交通規制 (時期及び内容が示されたステップ1, ステップ2)



## 芳賀台北交差点の交通規制 (時期及び内容が示されたステップ1, ステップ2)



## 芳工連日誌

### 【10月の実績】

- 1日 交通安全のぼり旗撤去
- 4日 30周年記念事業部会
- 12日 健康づくり講習会
- 15日 30周年記念誌発行部会
- 16日 第2回総務企画部会
- 19日 30周年記念事業部会
- 22日 第4回30周年実行委員会
- 23日 第2回役員会
- 24日 若手研修会
- 24日 資源ごみ回収日
- 25日 第3回クリーン作戦
- 29日 安全運転講習会
- 31日 管理センター管理組合役員会

### 【11月の予定】

- 7日 初級管理者研修会
- 7日 県県土整備部長へ要望書提出
- 11日 芳賀町民祭
- 13日 危険予知訓練研修会
- 15日 芳賀郡市公衆衛生大会
- 16日 総務企画部会主催全体研修会
- 22日 環境整備部会
- 27日 全国暴力団追放運動中央大会
- 28日 真岡地区安全衛生大会
- 28日 資源ごみ回収日
- 30日 芳賀町商工会との交流会